

NEWSLETTER

THE JAPANESE SOCIETY FOR

PARAPSYCHOLOGY

SEPTEMBER 1978

No. 7

The 21st Annual Convention of Parapsychological Association: 1978年8月8日より12日まで5日間、Washington University, St. Louis, Missouri で行われた。世界各地から約200人の研究者が集まり、研究発表・シンポジウム、講演等が行われた。内容: PAPERS: I. Altered States and ESP, II. PK Studies, III. Statistical Issues, IV. Parapsychology and Psi, V. Psi and Cognitive Factors, RESEARCH BRIEFS: I. Psi and Psychophysiology, II. Spontaneous Case Studies and Surveys, III. Observer Effects and RSPK, IV. Free Response Studies, SYMPOSIUM: Current Direction in European Parapsychology, Changing Concepts of Mind and Matter, Psychic Healing Humans.

米国における超心理学研究センター

The American Society for Psychical Research
New York, N.Y. 1885年創立。超常現象の科学的な研究と啓蒙と目的とする。会長 Dr. Montague Ullman, 'Journal of ASPR', 'Newsletter' 発行。

Center for Parapsychological Research
Austin, Tex. 所長 Dr. Rex Stanford, psi機能に関するモデル及び理論に基づく実験的研究を行う。

FRNM, Institute for Parapsychology, Durham, N.C. 所長 Dr. K. R. Rao, Duke Parapsychology Lab. 上記諸機関との、厳密な方法論と統計法を用いた、psiの量的研究を行うことを目的とする。'Journal of Parapsychology' を発行。

Maimonides Medical Center, Division of Parapsychology and Psychophysics, Brooklyn, N.Y. 所長 Charles Honorton, psi現象の性質についての基礎的実験的研究を行う。

Mind Science Foundation, San Antonio, Tex. 所長 Dr. Helmut Schmidt, 電子機構及

心生体のPK効果の研究に主眼を置く。

Parapsychology Foundation, New York, N.Y. 会長 Mrs. E. Coly, 超常的行動と支配する原理・法則の科学的な研究を促進することを目的とする。'Parapsychology Review', 'Parapsychology Monograph' 発行。
Psychical Research Foundation, Durham, N.C. 所長 W. G. Roll, 死後の意識の存続の問題を科学的に研究する。雑誌 'Theta' 発行。

University of Virginia, Division of Parapsychology
Charlottesville, Va. 所長 Dr. I. Stevenson, 稀奇な事例、死後存続、reincarnation等の研究。
(Psi News, vol. 1, No. 1より抜粋)

学会ニュース

第11回日本超心理学学会大会・第9回超心理学研究学会

8月5・6日の五日、大阪新阪急ビルで第11回大会を開催し、研究発表・講演・シンポジウムが行われた。参加者約30名、例年に比べ討論が非常に活発であった。引続き9・8日と研究会が行われた。

大谷氏が21日P.A.大会に出席

同日は8月8日より米国 St. Louis で開かれた第21回 P.A.大会(本誌で紹介)に出席、研究発表を行い、続いて Institute for Parapsychology の研究を主催し、その後米国各地の研究施設を視察、9月末帰国した。

お知らせ

第12回月例研究会

10月々例研究会下記要領を実施します。
時期: 1978年10月22日(月) 10時~16時
場所: 学芸会館 東洋4代目 神田錦町3-28, (03)292-5931
議題: 第11回大会の反省と将来計画 司会長嶋綱典
発表: 記憶とESP 萩原重樹
報告: 第21回P.A.大会及び米国視察の概況 大谷宗司
(備忘録(約3000円)を發行する。出席予定の有無を10月15日までに同封のハカリで返信下さい)

NEWSLETTER

1978年9月30日発行 ©

編集・発行: 日本超心理学会

会長 小態虎之助 先生 逝く

日本進心理学会会長 小態虎之助 先生は、本年9月25日午後8時40分逝去されました。

先生は、我国における実験心理学の開拓者としての活躍と共に、この方面の研究の発展に大に力を尽くされました。先生が超心理学に対する関心は極めて深く、大正13年(1924)「心霊現象の科学」を著すと共に、心霊研究についての内外の研究状況を紹介され、この科学的研究の重要性を強調されたことは、我国における進心理学の在り方を示した点のこのこと大なる意義を有しております。

戦後、進心理学の研究を志した我々に対し、大いに励みとして、切實な指導を下さるに止まらず、日本進心理学会の設立という発展点のこのことありました。

本学会が設立したこのこと、会長として引受け下さるに止まらず、今も運営・研究指導に大に力を尽くされておられます。本学会が、純粋に科学的立場を以て、堅實に今日への歩みと続け、我国のアカデミクをなす中で、進心理学の固より科学的研究団体として認められるように努めることは、先生の指導の賜であります。

本学会は、今後共、先生のお教訓を仰ぎ、学術的研究を活発に進めたいと考へております。生前の先生の指導に答へて礼を申し上げます。先生の偉業にお祈り致します。

小態虎之助 先生 略歴

- 明治21(1888) 新潟県に生れ
- 大正3(1914) 東京帝国大学哲学科(心理学専攻)卒業、大学院に籍を置く
- 大正4(1915) 宮城県立仙台第二中学校教諭
- 大正9(1918) 盛岡高等農林学校講師
- 大正11(1922) 明治大学予科教授
- 大正12(1923) 日本女子大学嘱託教授
- 昭和24(1949) 明治大学文学部教授

- 昭和26(1951) 明治大学文学部教授
- 昭和32(1957) 停年退職、同大学講師

著 書

- 心霊現象の問題 1918. 進心理学文集第10巻
- 基の心理 1918 越山堂
- フロイト・ユングと其思想 1919. 心理学叢書第11冊
- 変態心理学講話 1920 東京刊行社
- 心霊学講話 1921 変態心理学講義第2編
- 心霊現象の科学 1924 新文社
- 心理学概観 1918 太陽堂
- 心理学全編 1941 太陽堂
- 心理学概観上巻 1942 太陽堂
- 現代心理学入門 1947 北光書房
- 現代心理学の実際 1949 北光書房

論 文 等 (進心理学関係の外)

- 夢の予言 1916 心理研究 第60号
- 自動現象の語 1917. 変態心理 第2号・3号
- 心霊現象に含みたる欺瞞 1918. 心理研究 第77号
- 「心霊現象の問題」の後に 1919 心理研究 第85号
- 憑きものの心理 1923 変態心理 1月号
- 幻覚と出霊 1926 変態心理 第19巻(第5号)
- 両子心霊能力の実験とその評価 1927. 脳第1巻
- 或る心霊現象の実験について 1927. 速水博士選

略記会論文集

- 心霊研究 1939 人間学講座 5.
- 心霊現象の問題 1940 科学知識 5月号
- 心霊科学論説 1954 心理学講座
- 心霊科学 1955 平凡社 世界文化年鑑中12月号
- 心霊現象 1959 平凡社 世界大百科事典中12月号
- 私の道 1968. 日本進心理学年報